

平成30年6月定例会議 代表質問 報告

【感染症対策について】

Q 3月下旬から麻しんの感染が拡大し、町田市に於いても患者が確認された。麻しんの市内の状況と対策は？

A 今回の麻しんについて市内では患者を確認していない。市内の医療機関に対し麻しん流行の注意喚起を行うと共に、診察時の対処方法を通知した。さらに、児童福祉施設等の職員へ予防接種の推奨を行った。

Q ワクチン不足の状況が続いているが、不足解消の見通しは？

A 予防接種の予約がとりにくいと聞いている。今後ともワクチン需要の動向に注視していく。

【県立津久井やまゆり園利用者の状況は】

Q 県立津久井やまゆり園を短期入所利用していた方の現状は？

A ケースワーカーが家庭訪問するなど生活状況やサービス利用の意向を確認し在宅サービス支援に繋げる様努めている。

【市の施設利用料金について】

Q 平成31年4月から市内43の施設の利用料金の定期的な見直しが予定されているが、市の見直しについての考え方は？

A 当初、来年4月からを予定していたが、同年

10月の消費税率引き上げ等により再度見直しの必要が生ずることから、多くの施設は平成32年4月に見直しをする。

【新学習指導要領実施の対応について】

Q 平成32年度から小学校での外国語科の新設等により授業時間数が増加する。どの様に対応していくのか？

A 新学習指導要領実施に伴う授業時間数の増加に現在の日程では対応できない。このため来年度から夏季休業期間の終わりを一週間短縮し授業時間を確保していく。

Q 中学校での対応は？

A 中学校では今回の改訂で授業時間数の増加は無いが、小学校と同様に夏季休業期間の終わりを一週間短縮し、充実した教育の実施に努める。

【小学校空調設備の整備について】

Q 空調設備の整備については中学校は完了したが、小学校の整備のスケジュールは？

A 今年度の末時点での未設置校は26校の予定である。国へ国庫補助の要望をし、平成32年度の夏休みで完了したいと考えている。

注 平成30年9月定例会議冒頭の市長挨拶で1年前倒しを表明

中村まさはる後援会 主催

日帰りバスの旅 3

「秩父宮記念公園」の紅葉狩り、富士山周遊の旅
三度目の正直で富士山を目の前で見よう！

訪問予定地 秩父宮公園、静岡県富士山世界遺産センター、富士山本宮浅間大社、忍野八海 他

期 日 平成30年11月30日(金)
午前7時頃出発予定
料 金 8,000円
申込み方法 別紙申込書に住所・氏名等記載の上各支部長若しくはFAXで10月末日までにお申込みくださいます様お願い申し上げます。

中村まさはるのプロフィール

昭和36年6月20日生まれ
友愛幼稚園、田名小、田名中、県立麻溝台高校卒業
昭和59年 神奈川大学経済学部経済学科卒業
サラリーマンを経験後、コンビニエンスストアを経営
平成15年 相模原市議会議員に初当選(現在4期目)

【現在の役職】

環境経済委員会委員、交通問題特別委員会委員
小田急多摩線延伸を促進する議員連盟 会長
相模原スポーツを応援する議員連盟 副会長
相模原市議会防衛議員連盟 幹事長
相模原市議会 自由民主党相模原市議団 幹事長
自由民主党神奈川県相模原市中央区第五支部 支部長

相模原市議会議員

中村 まさはる

活動報告

発行：中村まさはる後援会
2018年10月号



ごあいさつ

中村まさはる後援会 会長 内山 健一

後援会長プロフィール
出身：昭和22年 田名葛輪生まれ
役職：田名地区公共交通整備促進協議会 副会長

中村まさはる後援会会長の内山健一です。皆様には日頃より中村まさはる後援会の活動に、ご理解ご協力を頂き心より感謝申し上げます。早いもので中村議員も4期目最後の1年を活動中です。引き続き皆様のお力添えをお願い申し上げます。

さて、本年6月の相模原市議会定例会議の冒頭で中村議員が全国市議会議長会より議員在職15年表彰を受けました。この受賞は後援会の皆様のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。中村議員には15年の経験を活かして更に地域の声を反映し、地域の発展に取り組むよう提言しておりますので、皆様の声をお届けくださいます様お願い申し上げます。

さて、今年度の後援会の活動は4年ぶりにバス旅行を企画いたしました。バスの安全な運行管理を求める基準の見直し等により、前回より料金アップとなりましたが、昨年末にオープンした「静岡県立

富士山世界遺産センター」の見学をはじめ、富士山を時計回りで一周したいと思います。紅葉のすばらしい時期ですので友人にお声がけ頂き、多くの皆様と思い出を作りたいと考えておりますので、宜しくお申し上げます。

最後に、中村議員は本年5月に次期市議会議員選挙に向けて自由民主党から1次公認を受けております。今後、後援会の輪をさらに拡げて頂き、五度目の勝利を収められますよう、皆様のお力添えをお願い申し上げご挨拶いたします。

今後とも宜しくお申し上げます。

相模原市議会議員 中村 まさはる

本年7月から自転車に 保険加入が義務化されました！

昨年12月の定例会議に於いて「相模原市安全に安心して自転車を利用しようよ条例」が可決施行され、本年7月1日からは自転車損害賠償保険等への加入が義務化されました。この条例は、自転車が加害者となり相手を死亡させ約9,500万円の損害賠償命令が裁判所から下された判例をきっかけに、自転車事故により加害者、被害者の双方が不幸にならない様、願いをこめて議員提案で制定したものです。年間1,500円程度で保険に加入出来ますので、皆様も保険加入くださいます様お願い致します。なお、現在加入されている自動車保険や火災保険などに「個人賠償責任補償特約」がついている場合等もありますので、保険代理店等にご相談くださいます様お願い申し上げます。議員提案での条例制定は数が少なく今期の3年をかけて会派で取り組んだ成果がこの条例です。今後も市民の安全安心を優先的に活動致しますので、後援会の皆様に於かれましては引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



小田急多摩線延伸を促進する議員連盟会長として神奈川県浅羽副知事に要望書を提出(3ページに関連質問)

平成30年度 相模原市の予算について

平成30年度の予算規模についてですが、一般会計の当初予算は2,935億円と前年度比42億円(1.5%)増で、過去最大となりました。この他に国民健康保険事業や、介護保険事業など特別会計予算があり、その合計は1,883億円と前年度比96億円(4.9%)減となりました。今年度から国民健康保険を神奈川県が一元的に管理(今年度から全国で都道府県が管理することになった)をすることが減少の要因です。また、下水道事業公営企業会計は329億円で47億円(16.7%)増となりました。建設改良費の増加により大きく予算が伸びました。

歳入についてですが、市税収入は1,272億円で、前年度比138億円(12.2%)増となっております。そのうち125億円については今年度から県費負担教職員給与負担等の税源移譲に伴い、県から個人住民税所得割2%相当分が移譲される分です。法人市民税についても66億円と前年度比6億円(10%)の増となっております。昨年度の当初予算では15億円の減でしたが、企業収益が緩やかに回復している様です。

市債については288億円となり前年度比41億円(16.8%)増となっております。平成30年度は小中

学校の校舎等の整備事業を実施することにより増額となっております。

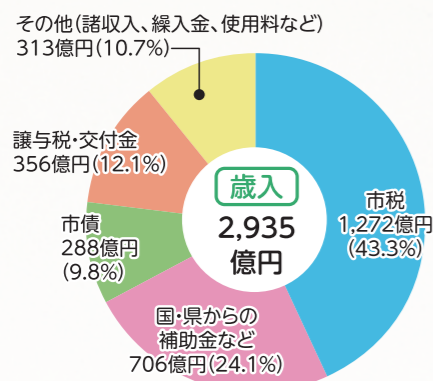
次に、歳出(支出)についてですが、予算全体の62.8%を占める義務的経費についてですが、1,844億円と対前年度比42億円(2.3%)増となっております。そのうちの40億円は生活保護費や医療給付費など扶助費で社会保障制度の法律に基づく経費です。人件費については725億円で対前年度比2億円(0.3%)減です。定年等による職員構成の変動と制度改正による退職手当の減額が要因となっております。

公共施設整備等を行う経費である投資的経費については175億円で対前年度比41億円(30.5%)増となっております。この予算で北清掃工場改良事業や麻溝まちづくりセンター・公民館移転整備などの事業をおこないます。投資的経費の予算全体に占める割合は昨年度の4.6%から6.0%と伸びてはいますが、指定都市の平均は15%前後であり更なる投資的経費の確保を求めています。

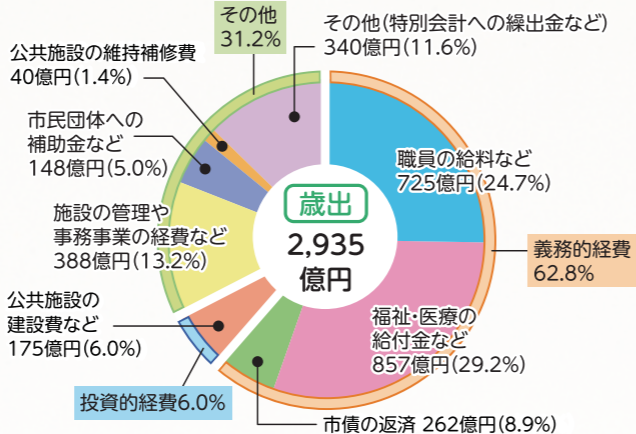
今年度も皆様から納付頂いた市税が無駄に使用されない様、議会の立場でチェックして参ります。

一般会計(福祉や教育、道路や公園の整備など、基本的な行政サービスに関わるもの)の予算についてお知らせします。

予算額 2,935億円



ポイント 市税の増収や、国からの補助金、小・中学校や道路の整備などのために発行する市債を見込んでいます。また、債権回収の強化などにも取り組みます。



ポイント 子どもの貧困対策や学力保障の取り組みなどに重点を置きました。子育て支援、福祉、医療体制の充実、防災力の向上、広域交流拠点の形成、産業振興などにも取り組みます。

市民1人当たりの予算額…40万6,123円

※算出方法=30年度一般会計予算額÷30年1月1日時点の人口(72万2,688人)



平成29年12月定例会議 一般質問 報告

【収益性の高い農業への支援について】

Q 市内でも観光農園としてイチゴを栽培するなど、高収益型農業経営が年々増えている。新しい農業の普及が農家の収益増となると考えるが見解は。

A イチゴの摘み取りを主とした観光農園については都内や周辺都市から観光需要が見込まれ地域経済の相乗効果も期待出来る。今後、農協等関係機関と連携して高収益型施設栽培への参入を積極的に支援していく。

【高田橋右折レーン完成後の渋滞対策について】

Q 高田橋右折レーン完成後の渋滞対策は？

A 現在、神奈川県に於いて渋滞の要因や対策に向けての調査、検討を進めているので、県と連携して渋滞解消に取り組む。

Q 高田橋を渡った高田橋際交差点の信号の時間調整が渋滞解消に効果的と考えるが見解は？

A 愛川町側の道路管理者の神奈川県から交通

管理者の神奈川県警本部へ信号の表示時間の調整等依頼がされていると伺っている。

【学校給食の改善について】

Q 小学校給食で現在多く使用されている肉等について、冷凍食材からチルド食材を多く使用して、新鮮な食材を使用することが望ましいと考えるが見解は？

A チルド食材の購入は新鮮で良質であることから大変重要であると認識している。市内業者から納入されている食肉などのチルド食材は新鮮で調理もし易いことから、安全安心の給食を提供する為、今後も食材の確保に努めていく。

Q 市内農畜産物の使用拡大に向けた取組みは？

A 市内の農業協同組合や生産者の代表者、学校給食運営協議会役員などを構成員とする情報交換会を本年2月に設置した。生産者と栄養士等が定期的に意見交換を行い、さらなる地産地消の推進を図る。

平成30年3月定例会議 一般質問 報告

【小田急多摩線の延伸について】※1ページ参照

Q 小田急線の複々線化事業の完成に伴い3月のダイヤ改正で大きく所要時間が短縮された。この複々線化は小田急多摩線の延伸にどの様に影響するのか。

A 今回の複々線化事業の完成に伴い、大幅に輸送力が増加し、混雑の緩和や所要時間の短縮が図られた。このことから小田急多摩線の延伸についても需要の向上に効果があると期待している。

Q 上溝以遠の田名、愛川方面への延伸については「小田急多摩線の延伸促進に関する連絡会」に於いて検討されているが、これまでの成果と今後の取組みは？

A 連絡会の取組みにより交通政策審議会から上溝までの整備の進捗を踏まえつつ検討を行うことが適当と示された。



今後も県のかながわ交通計画へ位置付けることを目指して、関係機関と連携し取り組む。

【子育て支援施設について】

Q 仙台市にあるような幼稚園と保育所を比較出来る様なパンフレットの作成を行い、保護者にそれぞれの特徴を理解して頂き、選択して頂くべきではないのか？

A 保育所の入所案内に幼稚園の利用に関する情報を追加するなど、保護者に分かりやすい周知に努める。

Q 新年度予算にある様に、幼稚園での2歳児の受け入れをするなど、幼稚園の空き教室を有効活用出来ないのか？

A 幼稚園の施設利用は有効である。新年度実施予定の2歳児の受け入れや、開所時間の延長に支援を行い、保育需要の受け皿の役割をお願いしたい。